



社会福祉法人 恩賜財団

東京都同胞援護会

TOKYOTO・DOHO・ENGOKAI

同援だより

2015年 盛夏号(175号)

<http://www.doen.jp/>



社会福祉法人のあり方が問われている

常務理事 菅原眞廣



先般、平成二十六年年度の事業報告及び決算報告が役員会で承認されました。昨年度は、施設の改築や人件費増など支出が増え、その分、前年度に比べ収支差額が減じました。

これも利用者の安全・安心や、職員の確保のための必要な支出であったと思います。事業面では、おおむね所期の目標を達成することができました。関係各位と職員の皆様に心より感謝申し上げます。

二十七年度の介護報酬改定が、全体でマイナス二二七パーセントの引き下げとなり、当法人の高齢者支援系の事業にも大きな影響を及ぼしそうです。利用者サービスを低下させることなく、マイナス改定の影響を最小限に抑えるため、各施設では、稼働率のアップや、各種加算の確保などに積極的に取り組んでおります。

今回の社会福祉法人制度改革では、社会福祉法人に、社会貢献活動として「地域における公益的な取り組みを実施する責務」が課せられています。我が法人でも独自にいくつかの社会貢献事業を行っていますが、今年度新たに、「生活困窮家庭の子供に対する学習支援」を開始しました。この事業を手始めに、今後さらに積極的に社会貢献活動に取り組んでいきたいと思っています。

これから本格的な夏がやってきます。食中毒や、熱中症に十分気を付けるとともに、台風や、集中豪雨などの自然災害にもしっかりと対応し、この夏を乗り切って行きたいと思っています。

事業所内保育所「あつぷる」

あつぷる 事務担当

総務部副主任 林 謙 二

職員福利厚生の一環として事業所内保育所「あつぷる」を平成二十二年四月、定員十名でオープンしました。

これまでは、事業所内保育事業の位置づけでしたが、平成二十七年年度から「子ども子育て支援新制度」により新設された地域型保育事業の「事業所内



保育事業」として運営いたします。

新制度により利用年齢は〇歳から二歳。地域の利用者枠として五名を含む十九名の定員です。

開園時間は、七時三十分から十八時三十分、延長保育を二十時三十分まで実施します。また、短時間保育や職員の夜勤に対応するための夜間預かり保育、休日保育も実施いたします。

小さな保育園ですが、食事提供や衛生管理、感染症対策なども通常の保育園と同等のサービスを行います。

三歳以上のお子さんについては、昭和郷第二保育園が連携保育所となっております。

「あつぷる」は旧昭和郷第二保育園の分園の一部を活用しており、昭和郷第二保育園とは園庭でつながっています。そして防災訓練を一緒に行ったり、音楽会に参加するなど交流もあります。

「あつぷる」のこどもたちは、散歩によく出かけます。昭島病院横のみんなの広場に行ったり、遠くは昭和記念公園まで足を伸ばしたりしています。帽子をかぶって、小さなお子さんは四人乗りのベビーカー（避難車）に乗ったり、保育士と手をつないで楽しそうに出かけていきます。

定員の割に広い室内は遊び場として

も、昼寝をしても余裕があり、静かな雰囲気も保育園としては独特です。

今後も現在利用されているお子さんと職員のニーズを汲みながら、職員のお子さんの受入、待機児の解消にも資する運営をしていきたいと思えます。

小規模ユニット工事に伴う利点について

双葉園

園長 宮澤民雄

双葉園では、平成二十四年の厚労省の「児童養護施設等の小規模化及び家庭の養護推進について」の通知により、今年度の十一月から本園の男子（二階）と女子（三階）フロアの小規模ユニット工事が始まります。

現在、児童養護施設は、虐待を受けた児童、障害のある児童、病弱な児童などの増加により、養育の難しさによる対応の困難性が増しています。

小規模ユニット化で、子どもたちの集団を八名以下で生活ができるようになることで、子どものニーズに沿ったきめ細かい支援ができることがあげられます。具体的には、日常生活において家事

や身の回りのことが自然に身につく環境が保障できるようになった（衣食住・健康・経済観念等）ことや子ども達から生活が楽しくなった等が他施設の実践から言われています。また、個別化により子どもにすぐに対応してくれる職員がいることで、一定の精神状態で安全で安心した生活が送れることがあげられます。

今後とも、子どもの個別指導計画に基づき、「子どもの人権を守り、自立を支援します」の目標に向かい支援していきますので、ご理解、ご協力の程、よろしくお願いたします。



新 任 挨 拶



万世敬老園
副園長 加藤 敏隆

平成二十五年度管理職候補試験に合格し、二年間の研修を経て、平成二十七年四月二日より、万世敬老園の副園長に就任しました。

電機系の大学を卒業し、福祉の業界に飛び込みましたが、一番初めの職種は、調理員でした。その後、軽費老人ホームの支援員を経て、養護老人ホームの支援員となり、相談員を経て、副園長に就任させていただきました。

入職当時は、高齢施設という事もあり、利用者との別れがとても辛く、やめようと思った時期もありました。しかし、その時の園長に「後悔のない別れを作った事があるのか？一度でも後悔のない別れができれば、この仕事をやめてもいい」という課題を提示されました。その時は、自分も若く、負けん気から、「そんなのすぐにできる」と思いましたが、すでに十四年以上が経過しています。

別れは、辛く厳しいものですが、その人の別れに後悔がないように色々な方策を取り組み、一度は満足をする

のですが、そのすぐ後に、あれもできた…、これもできた…、もっとああしたいれば…。という後悔が生まれてしまいます。そして、いまだに課題を達成できていません。

今にして思えば、達成できない課題ではないのか？と思う事もあります。しかし、出会いがあれば、別れは必ずついてきます。日々変化する利用者の皆様の声を聞きながら、その人らしい人生を少しでも送れるように日々悩みながら、仕事をしていきたいと思えます。

若輩者ではありますが、皆様のご指導ご鞭撻をいただきながら、変化していく高齢者、福祉文化の現状に対応し、利用者の生活の質の向上を考え、その人らしい生活を考え実践していきたいと思えます。



東村山生活実習所
副所長 河野 直樹

四月より東村山生活実習所の副所長として就任いたしました。私は、障害者福祉に携わり今年で十七年目になります。本法人に入職するまでは福祉業界とは全く関係のない般の企業で働いていました。以前から福祉の仕事に興味があり思い切つて転職の縁あつて本法人で働くことになりました。しかしながら当時は右も左も

わからない中、利用者のもとよりその家族の方には沢山のご迷惑をお掛けしたことを覚えています。また、障害のある方の支援については、専門性の高さや支援の難しさなど壁にぶつかる日々でしたが、こんな私でも気持ちよく切らすことなく長く働くことができているのは、「利用者の目線に立ち、より良い生活が送れるためにはどのような支援が出来るのか」を常に考えていく諸先輩方の姿勢や教えが軸となっていること。また、チームとして一緒に考えていこうとする職場の環境であり上司や先輩、同僚や後輩の支えがあつたからこそだと確信しています。

新しい職場へ配属され、まだまだ未熟さを痛感する毎日ですが、快く迎え入れて頂いた職員の方々に感謝の気持ちと同時に、与えられた役割の責任の重さに身の引き締まる思いです。

東村山生活実習所は東京都より移管され今年で十年目を迎えます。この十年は現在の障害者総合支援法になるまでに幾度となく法律や制度が改正されるなど混乱の多い十年でしたが、このような状況でも柔軟に対応し利用者サービスの質を下げないように取り組み、信頼を得てきたことと思えます。その築き上げてきた信頼を損なわない様にこれからもより一層利用者サービスの向上や地域に根差した施設、事業所作りを実現するために微力ながら精進していきたいと思



つつじが丘保育園
副園長 川村 純子

同援に就職して十七年目の春を迎えたこの四月より、副園長という責任ある職に就かせて頂きました。

私が初めて勤務した保育園は昭和郷保育園でした。ちょうど福祉改革が始まったところで、「これからの時代、福祉は大きく変わっていく」「措置から契約へ」という言葉を何度も研修で聞いたのを覚えています。しかし当時はそのような社会の変化よりも目の前の子どもたちと、とにかくたくさん関わり経験を積むことに一生懸命でした。そんな日々の中でたくさんのお会いを繰り返し、私は保育士として成長させて頂いたと実感しています。現在の園長や仕事に楽しく打ち込める仲間と出会い、子どもにとつて何が大切でどんな関わりをしていけばよいか、お母様方とコミュニケーションをとっていく大切さ、周りの先輩や子どもたちからたくさんのお話を学ばせてもらいながら、がむしゃらに仕事に打ち込んで来ました。

現在の保育園に異動してからも勉強の日々で、落ち込んだり励まされたりしながら毎日があつという間にす

ぎますが、社会人として本当に充実した日々です。そんな中、三人の子どもを出産し、仕事と家庭の両立にめげそうになりながらも仕事を続け、副園長に就かせて頂いたのも、園長を始め同僚の皆さま方のお陰であると心から感謝しております。

今年から子ども子育て新制度が施行され様々な変化をとげていく時代です。しかし、私が教えていただいた「子どもにとって大切なこと」というのは不変なものであるべきだと思えます。時代や制度が変わっても、常に子どもにとって大切なものは何かということを一番に考えながら、今後も保育園としての役割を果たしていきたいと考えています。「子どもたちの幸せ」が一番のやりがいにつながると思えます。そのためにやりがいのある職場作りを目指します。そして、自分自身も周りの方に感謝を忘れずに楽しく仕事を続けていけるように努力していきたいと思えます。



児童センター ぱれつと
館長 川畑 亮介

平成二十四年四月、同援としては初めてとなる、児童センター「学童クラブ」の運営が開始されました。開設準備から運営業務に携わり、慣れ親しんだ今年四月、児童センター「ぱれつと」の館長を拝命いたしました。

児童館は児童福祉法において、すべての児童を対象とした地域における唯一の福祉施設です。来館する子どもたちの元気な声や、活発に遊んでいる姿を見ていると、自分自身が幼かった時のことをよく思い出します。

近頃、近所の公園や空き地、学校の校庭で放課後や休日に遊んでいる子どもたちの姿を見かけなくなりました。しかし、子どもたちは遊んでいないわけではありません。遊びの変質、一人でも遊べるような社会が、子どもたちの遊びを変えてしまったのではないかと思えます。そうした変質は、子どもから作り出されたものではなく、大人社会が、時に「子どものため」時に「安全のため」時に「大人しくさせておくため」に与えたものではないでしょうか。

児童館・学童クラブは、児童の健全育成・子育て拠点施設として、その担う役割は大変大きいと感じています。地域ニーズに基づいた新たな活動

の実施を明確にしながら、組織体制や施設整備、及び人材育成を進めていきます。そして、地域に信頼される子育て支援施設として「丁寧で優しい児童館」を念頭に、より開かれた施設運営に全力で取り組んでいこうと思えます。

最後に、日頃から児童センター「ぱれつと」の施設運営に多大なるご理解と、ご協力を頂いております地域の方々、ボランティアの皆様は、この場をお借りして厚く御礼を申し上げます。今後ともご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い致します。



昭島病院
医事 課長補佐 山口 慎二

四月一日付けで昭島病院医事課に配属となりました。平成十二年四月一日に介護職員として特別養護老人ホームニューフジホームに入職し、グループホームかえでを経て現在に至ります。気が付けば同援の在籍も早十六年目となりました。入職以来、介護の現場で働き続けていた私にとって、今回の異動はまさしく「寝耳に水」であり、内示を受けた際も返答に窮したところが本音です。

しかしながら思い起こすこと十五年と数か月前、法人本部での採用面接の場で、「多種の事業所を持つ法人

なので、様々な経験をしたい」と抱負を述べたことを思い出しています。新たな経験を積めること、初心に帰ることを恐れずに、そしてこれまでの経験を活かせるよう日々を過ごしたいと思っております。

これらは私個人の課題ですが、社会に目を向けると、超高齢化社会、貧困、就労、保育及び教育の機会の確保等々の話題がメディアに挙がらない日はありません。

景気の停滞や生活環境の変化が続く中、生活そのものへの根強い不安を感じます。また、それらの裏返しのように福祉、医療、保健、教育等へ求められるものも、より高度になっているように感じます。

私たち社会福祉法人に求められているものは何でしょうか？ 同胞援護会に求められているものは……？

私は何よりも具体的な実践だと思えます。歴史ある法人として、そして多種多様の専門職が所属する組織として、困っている人に迅速に手を差し伸べることが求められていることではないでしょうか。そのことで地域の方々に「私たちの地域は同援さんがいるから大丈夫」と言ってもらえるようになれば最高だな、と思っております。

不安や不満の多い現代だからこそ、地域の方々が少しでも暮らしに安心を感じてもらえるよう私も尽力したいと思えます。

平成26年度 事業報告について

平成27年5月27日に開催された理事会・評議員会において「平成26年度事業報告」並びに「平成26年度決算報告」が承認されましたのでお知らせいたします。

なお、本会の事業報告並びに決算書は頁数が相当数に及びますので、その要旨のみを7ページから11ページのとおり紙上掲載いたします。

法人事務局に「平成26年度事業報告・決算報告書」がございますので、詳細をお知りになりたい方は、事前にお電話で来訪日をお知らせいただければ閲覧していただけます。

平成26年度 事業報告

平成26年度の日本経済は、緩やかな景気回復基調となりましたが、消費税増税後の影響などから個人消費の回復の動きは鈍く、今後景気動向を左右する要因も多く、先行き不透明な状況が続いています。

国においては、社会福祉法人制度の在り方が議論されました。また、介護、子ども・子育ての各分野で改革の内容が示され、特に介護については総額で2.27%の介護報酬減額となるなど、事業者にとって厳しい内容となりました。

当法人においては、引き続き利用者サービスの一層の充実を図るため施設運営に万全を期すとともに、人材の確保及び育成に努めました。

まず、施設運営については、利用者への個別計画に基づいた適切なサービスを提供するとともに、老朽化した設備の更新など利用者の安心・安全を確保するための対策を推進いたしました。

老朽化した施設の更新については、大山保育園の改築工事が竣工し、立川福祉作業所も計画通り本体工事着工となりました。

また新規の施設として、昭島市の(仮称)拝島駅前保育園においても計画通り建設に向けた工事が進んでいます。

次に、人材の確保・育成については、平成26年度も新規学卒者の計画的な採用を進めるとともに、新規職員から施設長まで階層別に法人研修を実施したほか、各支援系グループにおいても分野別の研修を行い、職員の資質向上に繋げました。

最後に昭島病院ですが、入院、外来ともに患者数が減り、厳しい財政運営の結果、今年度は赤字決算となりました。そうした中でも、地域医療連携の拡充や救急医療の積極的受け入れなど地域の中核病院の役割を担って参りました。

この一年、施設の利用者ならびにご家族の皆様をはじめ、関係者、地域の皆様から様々なご支援、ご協力を賜りましたことを心より御礼申し上げます。

同 援 だ よ り

平成26年度 施設利用状況報告

平成27年3月31日現在

グループ名	種 別	施設名	利用状況							職員配置状況				常勤換算						
			定 員	利用者数 (3月末実績)	1日平均 利用者数	年間 利用者数	年間実施 延日数	年間利用率			正 規 職 員	臨時職員 契約職員	非常勤		職員数 合計					
								26年度	25年度	前年対比										
保育支援系	保 育 所	むさしの保育園	169	175	176.3	51,645	293	104.3%	100.0%	4.3%	36	3	22	61	48.1					
		本園	140	147	147.5	43,223	293	105.4%	99.9%	5.5%										
		方南分園	29	28	28.7	8,422	293	99.1%	100.0%	-0.9%										
		昭和郷保育園	100	117	115.7	33,909	293	115.7%	115.2%	0.5%										
		大山保育園	122	125	123.7	36,242	293	101.4%	102.6%	-1.2%										
		昭和郷第二保育園	190	205	202.3	59,273	293	106.5%	101.8%	4.7%										
		みなと保育園	70	72	70.6	20,681	293	100.8%	103.4%	-2.6%										
		同援みどり保育園	125	130	129.7	38,014	293	103.8%	104.3%	-0.5%										
		つつしが丘保育園	110	132	131.6	38,550	293	119.6%	120.3%	-0.7%										
		同援さくら保育園	108	121	121.9	35,721	293	112.9%	112.0%	0.9%										
保育施設 計			994	1,077	1,071.8	314,035	—	107.8%	106.5%	1.3%	205	19	146	370	300.8					
高齢者支援系	養護老人ホーム 軽費老人ホーム 救護施設 特別養護老人ホーム 老人 デイサービスセンター 地域包括支援センター 居宅介護支援事業所 小規模多機能型居宅介護事業 公 益 事 業	万世敬老園	200	195	198.6	72,484	365	99.3%	100.5%	-1.2%	18	7	24	49	43.3					
		サンホーム	50	50	50.0	18,250	365	100.0%	100.0%	0.0%	8	8	6	22	18.1					
		ライトホーム	50	35	36.3	13,264	365	72.7%	67.8%	4.9%	1	1	1	3	2.7					
		昭島荘	100	97	99.0	36,117	365	99.0%	100.1%	-1.1%	36	2	10	48	45.3					
		小計			400	377	383.9	140,115	—	96.0%	96.2%	-0.2%	—	—	—	—	—			
		フジホーム	104	102.3	98.7	36,033	365	94.9%	94.2%	0.7%	30	23	14	67	61.0					
		ニューフジホーム	104	96.7	97.1	35,438	365	93.4%	95.5%	-2.1%	41	10	24	75	67.5					
		原町ホーム	52	51.9	51.5	18,812	365	99.1%	99.9%	-0.8%	19	5	15	39	37.7					
		ゆたか苑	54	53.6	52.2	19,036	365	96.6%	97.1%	-0.5%	23	3	14	40	36.9					
		ひかり苑	54	55.5	53.7	19,599	365	99.4%	98.4%	1.0%	22	11	9	42	40.4					
		小計(介護施設)			368	360.0	353.2	128,918	—	96.0%	96.4%	-0.4%	—	—	—	—	—			
		認知症対応型老人共同生活援助事業 (グループホーム)	かえて	9	9	8.2	2,981	365	90.7%	91.7%	-1.0%	3	4	3	10	8.9				
		原町グループホーム	18	18	17.6	6,438	365	98.0%	87.0%	11.0%	4	3	15	22	19.0					
		フジ・デイサービスセンター	25	16	16.9	5,191	307	67.6%	72.1%	-4.5%	3	1	11	15	11.5					
		フジ・デイホーム	10	7	6.8	2,079	307	67.7%	72.9%	-5.2%	1	1	6	8	6.7					
		原町デイサービスセンター	12	7	7.2	2,119	307	59.7%	47.8%	11.9%	0	1	10	11	9.7					
		東大和市ふれあいデイセンターひかり苑	12	10	7.8	2,398	307	65.1%	71.6%	-6.5%	1	2	6	9	7.1					
		新宿区復興高齢者総合相談センター	—	882	40.9	12,568	307	—	(12,647件)	(-2.2%)	9	0	2	11	9.2					
		昭島市中部地域包括支援センター	—	871	42.0	12,310	293	—	(10,272件)	(19.8%)	3	0	3	6	5.0					
		フジホーム	—	84	4.2	1,013	244	—	(1,162)	(-12.8%)	1	0	2	3	2.7					
原町ホーム	—	82	3.1	913	295	—	(655)	(39.4%)	2	0	0	2	2.0							
ゆたか苑	—	87	4.2	1,030	244	—	(993)	(3.7%)	1	1	0	2	2.0							
ひかり苑	—	32	1.6	381	242	—	(336)	(13.4%)	1	0	0	1	1.0							
原町小規模多機能型居宅介護センター	25	19	15.7	5,743	365	62.9%	41.3%	(21.6%)	3	2	6	11	10.8							
小計(介護在宅)			111	370	93.2	30,366	—	—	—	—	—	—	—	—						
フジホーム診療所	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
高齢者施設 計			879	1,107	830.3	299,399	—	93.3%	94.6%	-1.3%	230	85	181	496	448.5					
障害者支援系	障害者支援施設(入所) 障害福祉サービス (通 所) 心身障害者福祉ホーム 身体障害者福祉センター 共同生活介護・ 共同生活援助 (知的障害者グループホーム) 障害者施設 計	さやま園(居住)	96	96.0	88.0	32,102	365	91.6%	90.4%	1.2%	142	23	84	249	202.2					
		施設入所支援	96	96.0	88.0	32,102	365	91.6%	90.4%	1.2%										
		生活介護	(96)	100	90.5	89.4	24,044	269	93.1%	91.1%						2.0%				
		短期入所	4	—	—	1.1	392	365	28.8%	38.5%						-11.7%				
		小茂根福祉園	40	70	31.3	32.3	7,849	243	80.8%	80.0%						0.8%				
		生活介護	30	—	—	29.7	29.2	7,100	243	97.4%						90.2%	7.2%			
		就労継続支援B	30	30	25.1	25.8	6,936	269	85.9%	78.8%						7.1%				
		生活介護	30	—	—	34.3	33.2	8,921	269	94.8%						90.0%	4.8%			
		就労移行支援	10	—	—	9.7	9.3	2,490	269	92.6%						93.6%	-1.0%			
		就労継続支援B	30	40	27.2	27.5	6,700	244	91.5%	90.7%						0.8%				
		生活介護	30	—	—	10.7	11.3	2,755	244	112.9%						101.8%	11.1%			
		就労継続支援B	10	—	—	0.7	249	365	34.1%	36.4%						-2.3%				
		短期入所	2	—	—	—	—	—	—	—						—	—	—	—	—
		さくらんぼ	—	253	6.8	2,467	365	—	(2,690)	(-8.3%)						12	1	7	20	15.6
		さいわい福祉センター	—	868	29.4	10,717	365	—	(9,508)	(12.7%)						19	0	20	39	25.6
		アミニティ富士見	6	6	6.0	2,190	365	100.0%	98.6%	1.4%						—	(1)	—	0	—
		グリーンハイツ	6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%						—	(1)	—	0	—
		フレンズ・モエ	5	5	5.0	1,611	365	100.0%	92.9%	7.1%						—	(1)	—	0	—
		パル	6	6	5.7	2,095	365	95.7%	94.8%	1.1%						—	(1)	—	0	—
		それいゆ小川	7	7	7.0	2,555	365	100.0%	100.0%	0.0%						—	(2)	—	0	—
ファーム竹丘1	6	6	5.6	2,054	365	93.8%	100.0%	-6.2%	—	(2)	—	0	—							
ファーム竹丘2	7	7	7.0	2,555	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—							
レジオンズ巣鴨	4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—							
はなみずき	4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—							
ユーカリ	4	4	4.0	1,460	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—							
夢オハナ	6	6	5.9	2,160	365	98.6%	99.8%	-1.2%	—	(1)	—	0	—							
結オハナ	6	6	6.0	2,190	365	100.0%	100.0%	0.0%	—	(1)	—	0	—							
サンライズ武蔵野	20	16	18.4	6,716	365	92.0%	97.1%	-5.1%	7	4	2	13	11.2							
緊急一時保護事業	1	—	0.6	203	365	55.6%	31.0%	24.6%												
サンライズ青山	20	10	12.9	4,717	365	64.6%	88.6%	-24.0%												
緊急一時保護事業	1	—	0.1	50	365	13.7%	31.2%	-17.5%												
サンライズ万世	20	20	19.2	6,997	365	95.8%	91.0%	4.8%												
緊急一時保護事業	2	—	0.1	28	365	3.8%	11.9%	-8.1%												
双葉園	50	49	48.1	17,569	365	96.3%	97.5%	-1.2%												
双葉園	(38)	(36)	36.4	13,286	365	95.8%	96.7%	-0.9%												
高嶋の家(地域小規模)	(6)	(6)	6.0	2,174	365	99.3%	100.0%	-0.7%												
くすのき(地域小規模)	(6)	(6)	5.8	2,109	365	96.3%	100.0%	-3.7%												
昭島市子どもトワイライトステイ事業	2	34	—	268	365	—	—	—												
いこいの家	40	13	8.9	3,252	365	22.3%	52.9%	-30.6%												
昭島市児童センターばれっと	—	6,629	195.6	64,732	331	—	(65,806)	(-6.6%)												
つつしが丘北学童クラブ	50	25	27.9	8,187	293	55.9%	54.0%	1.9%												
放課後児童健全育成事業	—	—	—	—	—	—	—	—												
児童・女性施設 計			206	6,762	331.8	112,451	—	71.7%	83.5%	-11.8%	61	19	40	120	95.9					
施設合計			2,433	10,488	2,639	862,587	—	96.2%	96.0%	0.2%	638	146	451	1,235	1,047.4					
医療	病 院	昭島病院	199	10,981	606.0	—	365	—	—	—	189	0	136	325	259.0					
		入院	199	4,136	138.0	—	365	69.3%	72.3%	-3.0%										
		外来	—	6,845	468.0	—	281	—	—	—										
		訪問看護ステーション	—	—	130	3,425	263	—	—	—										
収益	印 刷	事業局	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
		土地・建物賃貸	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—					
不動産賃貸事業			—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—						
合 計 (福祉施設29、病院1、事業局1、その他事業29)			2,632	21,469	3,289.9	866,012	—	—	—	—	844	146	591	1,581	1,321.4					

注1 定員については母子支援施設は世帯数で他施設は人数。 注2 地域包括支援センターは、相談件数を記載。件数は、相談内容により重複している。なお、利用者数の合計には算入していない。

同 援 だ よ り

資金収支計算書

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

(単位:千円)

勘定科目		合計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引消去
事業活動による収支	事業活動収入計(1)	10,621,447	10,167,205	152,752	314,479	▲12,989
	事業活動支出計(2)	9,804,832	9,403,758	131,400	282,663	▲12,989
	事業活動資金収支差額 (3)=(1)-(2)	816,615	763,447	21,352	31,816	0
施設整備等による収支	施設整備等収入計(4)	390,889	387,841	0	3,048	0
	施設整備等支出計(5)	1,158,075	1,131,650	0	26,425	0
	施設整備等資金収支差額 (6)=(4)-(5)	▲767,186	▲743,809	0	▲23,377	0
その他の活動による収支	その他の活動収入計(7)	285,988	344,250	0	7,780	▲66,042
	その他の活動支出計(8)	392,336	400,117	45,161	13,100	▲66,042
	その他の活動資金収支差額 (9)=(7)-(8)	▲106,348	▲55,867	▲45,161	▲5,320	0
当期資金収支差額合計 (10)=(3)+(6)+(9)		▲56,919	▲36,229	▲23,809	3,119	0
前期末支払資金残高(11)		3,098,279	2,965,119	41,582	91,578	0
当期末支払資金残高(10)+(11)		3,041,360	2,928,890	17,773	94,697	0

同 援 だ よ り

事業活動計算書

(自)平成26年4月1日 (至)平成27年3月31日

(単位:千円)

勘定科目		合計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引消去
サービス活動増減の部	サービス活動収益計(1)	10,475,602	10,027,595	151,907	307,451	▲11,351
	サービス活動費用計(2)	10,278,930	9,871,979	131,465	288,475	▲12,989
	サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	196,672	155,616	20,442	18,976	1,638
サービス活動外増減の部	サービス活動外収益計(4)	145,245	139,000	845	7,038	▲1,638
	サービス活動外費用計(5)	44,101	43,231	641	229	0
	サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	101,144	95,769	204	6,809	▲1,638
経常増減差額 (7)=(3)+(6)		297,816	251,385	20,646	25,785	0
特別増減の部	特別収益計(8)	387,712	440,390	0	584	▲53,262
	特別費用計(9)	409,099	397,372	45,162	19,827	▲53,262
	特別増減差額 (10)=(8)-(9)	▲21,387	43,018	▲45,162	▲19,243	0
税引前当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)		276,429	294,403	▲24,516	6,542	0
法人税、住民税及び事業税支出(12)		4,788	3,159	0	1,629	0
当期活動増減差額 (13)=(11)-(12)		271,641	291,244	▲24,516	4,913	0
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(14)	6,211,579	6,074,781	44,182	92,616	0
	当期末繰越活動増減差額 (15)=(13)+(14)	6,483,220	6,366,025	19,666	97,529	0
	基本金取崩額(16)	0	0	0	0	0
	その他の積立金取崩額(17)	284,807	284,807	0	0	0
	その他の積立金積立額(18)	377,346	377,346	0	0	0
	次期繰越活動収支差額 (19)=(15)+(16)+(17)-(18)	6,390,681	6,273,486	19,666	97,529	0

同 援 だ よ り

貸借対照表

平成27年3月31日現在

(単位:千円)

勘定科目	合計	社会福祉事業	公益事業	収益事業	内部取引消去
資産の部					
流動資産	4,170,040	3,999,934	25,180	151,204	▲6,278
固定資産	16,879,131	16,825,196	8,071	240,851	▲194,987
(基本財産)	9,281,470	9,281,470	0	0	0
(その他の固定資産)	7,597,661	7,543,726	8,071	240,851	▲194,987
資産の部合計	21,049,171	20,825,129	33,251	392,056	▲201,265
負債の部					
流動負債	1,615,652	1,544,983	7,378	69,569	▲6,278
固定負債	1,660,562	1,651,626	0	203,923	▲194,987
負債の部合計	3,276,214	3,196,609	7,378	273,492	▲201,265
純資産の部					
基本金	997,735	991,500	0	6,235	0
国庫補助金等特別積立金	4,435,644	4,435,617	27	0	0
その他の積立金	5,948,897	5,927,917	6,180	14,800	0
次期繰越活動収支差額	6,390,681	6,273,486	19,666	97,529	0
(うち当期活動収支差額)	271,641	291,244	▲24,516	4,913	0
純資産の部合計	17,772,957	17,628,520	25,873	118,564	0
負債及び純資産の部合計	21,049,171	20,825,129	33,251	392,056	▲201,265

財 産 目 録

平成27年3月31日現在

社会福祉法人 恩賜財団 東京都同胞援護会

(単位:千円)

I 資 産 の 部		¥21,049,171
(1) 流 動 資 産	¥ 4,170,040	
(2) 固 定 資 産	¥16,879,131	
ア.基本財産	¥ 9,281,470	
イ.その他の固定資産	¥ 7,597,661	
II 負 債 の 部		¥ 3,276,214
(1) 流 動 負 債	¥ 1,615,652	
(2) 固 定 負 債	¥ 1,660,562	
III 差 引 純 資 産		¥17,772,957

監 事 監 査 報 告 書

社会福祉法人 恩賜財団 東京都同胞援護会
 理事長 牧 野 洋 一 殿

社会福祉法人 恩賜財団 東京都同胞援護会
 監 事 鈴 木 道 生
 監 事 岩 井 令 雄

私たち監事は、社会福祉法第40条及び社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会定款第26条に基づき、平成26年4月1日から平成27年3月31日までの平成26年度の事業年度に関して、理事の業務執行の状況及び社会福祉法人恩賜財団東京都同胞援護会の財産の状況について監査いたしました。その結果につき本報告書を作成し、以下のとおり報告いたします。

[1] 監査の方法の概要

監事は、理事会その他重要な会議に出席するほか、理事等からその職務の執行状況を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧し、貴法人の本部及び各施設における業務及び財産の状況を調査しました。また、会計帳簿等の調査を行い、財務諸表及び事業報告書につき検討いたしました。

[2] 監査の結果

- (1) 会計帳簿は、記載すべき事項を正しく記帳し、資金収支計算書、事業活動計算書、貸借対照表及び付属明細書並びに財産目録の記載と合致しているものと認めます。
- (2) 資金収支計算書、事業活動計算書、貸借対照表及び財産目録は、法令及び定款に従い法人の財産、資金収支及び事業活動の状況を正しく示しているものと認めます。
- (3) 事業報告書は、法令及び定款に従い、法人の状況を示しているものと認めます。
- (4) 理事の職務遂行に関する不整の行為及び法令もしくは定款に違反する重要な事実は認められません。



◆同援さくら保育園◆

同援さくら保育園では平成二十五年より保護者の方に保育士体験として「二日お父さんお母さん先生」を実施しています。目的として園の生活の流れ、お子さんの園での姿、クラスの子どもの様子の様子等連絡ノートやクラス便りからの情報だけではなく、実際に見て関わってもらおう中で、かけがえのないお子さんの成長を共有していく場と考えています。

内容は朝九時から夕方四時半までお子さんのクラスに入り、一緒に活動しながら保育士のような働きかけをします。お昼は園の食事を子どもたちと一緒に食べてもらいます。午後は子どもたちがお昼寝をしている間に担任保育士と面談を行います。家庭での様子や実際に園のお子さんの姿についてどう感じたか等、情報交換をして家庭と保育園で同じ視点で関わっていくようにしています。

平成二十五年度は二五名(父親二十六名、母親八十九名)平成二十六年度は二九名(父親三十七名、母親八十二名)の参加がありました。毎回アンケートをいただいております、その中の自由記事では「最初

は緊張したが、先生にサポートしてもらい一日が楽しくあっという間に過ぎた。」「子どもが日々、こんなふうに通っているんだなあとと言うことを実際に見ることでできてとても良かった。」「普段会うことのないお友達が話し掛けてくれたり、甘えて来てくれたりと楽しく過ごせた。」「給食が薄味で美味しかったので家でも参考にしたい。」「等の感想が多くありました。

参加したお父さん・お母さんは一日の中でクラスの子どもの前で絵本の読み聞かせをするお仕事があります。ご自分が小さい時に好きだったお話し等、毎回子ども達はとても楽しみにしています。

全園児の保護者の参加を目指していますが、在園中にぜひ、一度は参加してほしいと思っています。

(阿部(英) 記)



◆東村山生活実習所◆

今年で八回目になる「合同祭り」を当施設の南側にある市立南台公園にて、五月十七日(日)に開催させて頂きました。お祭りは、隣接する「社会福祉法人いずみ」が運営する「あゆみの家」と一緒に開催する形をとっており、違った法人と一緒に仕事をするといい機会になります。以前は、施設が別々に開催しており、お互いの施設で普段通所している利用者や地域の方々に楽しんでもらうと試行錯誤をして企画運営をしていました。しかし、八年前に「二度一緒に開催してみよう」ということになり、場所も施設から離れ、目の前の公園を使って、開催させて頂きました。施設内で行うよりもより規模が大きくなり、地域の方々にも必然的に目にとまり、多くの方々が見に来てくれました。これを期に毎年、合同で行うようになり、地域の方々のお祭りとしての認知度も上がってきたところであります。

今年もいろいろな模擬店や催し物に関して、それぞれの施設でアイデアを出しながら約五ヶ月近くをかけて、作り上げてきました。

模擬店といえば、当施設の就労継続B型事業においては、例年の喫茶店運営だけにとどまらず、施設で製造したパンの販売も公園内で大々的に行い、利用者全員がそれぞれの役割を全うする姿が印象に残りました。今後も喫茶運営を中心に、利用者・職員二丸となり、様々なことにチャレンジしていきたい

同 援 俳 壇

万世敬老園 あじさる句会

うつりゆく

あじさいに見る人の世も

太田 義子

独り飲む

酒にはやはり

月岡 久三

紫陽花や

夕べの雨の

雫かな
佐藤 玲子

雨蛙

二匹並んで

紙型に
畑中 穠

みぎひだり

たしかめ乍ら

雨蛙
宣 準子



いと考えております。
 また、お祭りといえは、鳴り物もとても大事であり、今回も地域の阿波踊りのチームやパラパダンスをおどるグループ、そして懐かしい「ちんどん屋」さんと多彩に揃えられ、当日のお祭りをグッとひきたてることができました。最後に恒例のビンゴ大会では、集まったお客さんたち三百人以上の方の参加があり、二喜一憂の場面が多くみられました。
 準備は、年度をまたぐといった形になり、場合によっては、担当の職員が変更になったりと、様々なこともありましたが、毎年協力しながらお祭りを開催できることで、職員個々の交流も図れ、隣りの施設の利用者のことなどもよく理解できるようになり、とても有意義なことと感じています。

意義なことと感じています。
 (白井 記)

◆ ゆたか苑 ◆

ゆたか苑では毎月の防災訓練に加え、消防署が主催する、機器操作や初期消火及び避難誘導を機敏で正確に行うことを求める自衛消防審査会に毎年参加しています。鉄道会社や商業施設の集まる池袋では専門訓練を受けた隊員が数多く集まりますが、ゆたか苑でも消防団に属する職員指導のもと訓練を続けた結果、優秀賞をいただくことができました。

要介護高齢者が入所するゆたか苑では、スプリンクラーなどの防災設備は完備しているものの、夜間の避難誘導については困難な状況が想定されます。そこでゆたか苑と地元自治会は、火災時に互いに駆けつけるといった協力態勢を組んでいます。昨春秋には停電を想定して、非常食の炊き出しを行いました。訓練を行うことで、道具の保管場所や非常食の備蓄方法など課題が見えましたが、参加した地域の方からは手軽に調理できる非常食を初めて知った、実際食べてみて意外に美味しかったなどの意見が寄せられ、互いに実りのあるものとなりました。
 地域の方々との交流では実際に施設の中に入つていただくこともあります。建物構造を知っていただく良い機会になります。
 また、地域交流バザーで協力いた



いた売り上げを介護予防教室の経費や防災用品の購入に充て、地域に還元する事としました。
 ゆたか苑のこういった取り組みに合わせるように、先日豊島区と災害時における福祉救援センター(介護型)の協定締結を行いました。災害時に一時避難所対応の困難な要介護高齢者を受け入れるもので、今後区とともに避難され方の防災用品の整備を進めていきたいと思ひます。
 近年地域貢献を求められる福祉施設ですが、「地域とのつながり」と「防災の相互協力」をこれからも大切にして、ゆたか苑は地域とともに歩んでまいります。

(魚津 記)

昭島荘 道句会

花いかた

玉川上水 くだりけり 榎本 博吉

入学の

孫のたよりに 胸あつし 加賀谷美智子

花嵐

私の部屋に 二、三枚 河内 通子

散歩中

轉ききて 一休み 神 ぎぬゑ



昭島病院訪問看護ステーションのシヨンの地域への取り組み

昭島病院訪問看護ステーション

管理者 信田眞由美

昭島病院訪問看護ステーションを開設して八年目になります。そこで、私たちが行なっている地域への取り組みを紹介させていただきます。数年前から昭島NST（地域の栄養サポーターチーム）に参加し、二年前より世話人をさせて頂いています。この昭島NSTを簡単に説明しますと、職種の壁を越え栄養サポーターを実施する多職種の集団です。栄養士を中心として、医師・歯科医師・歯科衛生士・看護師・R.H.S.T・ケアマネジャーが参加し、さらに今年から薬剤師も加わり、ますます充実してきています。内容的には、各職種が意見交換をすることで、相互に理解し合い知識の向上を図り、「最期まで住み慣れた我が家で」「最期まで（口から）食べられる」サポーターをすることを目的とし、年四回実施しております。毎回好評を得て、回を重ねるごとに参加者も増え、最近では市外から参加する方もいらつしやいます。一年前より会場として、昭島病院会議室を提供し、駅から近く交通の便もよいため、参加者からは喜んでいただけているようです。



その他、昭島福祉ネットワークの幹事会にも二ヶ月前から参加するようにになり、色々な方との交流も増え、地域に出て行くことで、顔の見える連携や知名度もあがってきているものと自負しております。今後とも信頼される昭島病院訪問看護ステーションを目指し、日々努力していきます。

音楽ライブを終えて

児童センターぱれつと

児童厚生員 門田 弘暉

「ぱれつと」では遊びに来てくれる子どもたちが日々楽しめるよう、年間を通じて様々な行事を行っています。今回は三月二十八日に行われた、『音楽ライブ』ぱれつとNEW STARS』についてご紹介致します。

この行事は施設内の音楽スタジオ利用者の高校生男子のある一言から始まりました。「ぱれつとで音楽LIVEをしたい」と目を輝かせながら話してくれたのを覚えております。その生徒を中心に日時やプログラム、出演者観客募集方法を決め、四ヶ月前から行事実施に向けて取り組みました。乳幼児や小学生、保護者の方も楽しませたいという男子生徒の思いを実現するため、観覧スペースの配置や演出の確認もしました。周辺住宅への配慮としては、事前に行事内容を連絡し、窓には防音用のマットを施しました。前日には出演者と職員が一緒に機材の運搬や音響調節をしました。「マイクの音を大きく!」「バランスを考えて演奏しよう!」と意見交換をし、時間をかけ、準備を整えました。生徒たちの熱い思いを感じ、迎えた当日。笑顔で演奏を楽しみにしている出演者や緊張気味で練習に取り組む出演者、思い思いの心情で本番が始まるのを待っていました。静かな体育館に明るく刺激的な音楽が流れ始めると、会場は一気に熱気に溢れました。音楽に合わせて手を振りジャンプする中高生やそれに合わせて頭を振って盛り上がる小学生、後方では親子で演奏を見守る姿もありました。出演バンド数七組、合計三十一名で会場を盛り上げ、来場者数は八十八名に上りました。最後の卒業生を送る歌では会場みんなで肩を揺らし、和やかな雰囲気の中で幕を閉じました。

音楽を通し、幼児から大人までたくさんの方の楽しむ姿が見られました。行事名のようにいつの日か、「ぱれつと」から新しいスターが現れるのを職員一同、楽しみにしています。

「ぱれつと」では遊びに来てくれる子どもたちが日々楽しめるよう、年間を通じて様々な行事を行っています。今回は三月二十八日に行われた、『音楽ライブ』ぱれつとNEW STARS』についてご紹介致します。



祝表彰・感謝状受賞者

多年の功績とご協力に対し、次の方が表彰されました。
おめでとつございます。

◎ 全国社会福祉協議会会長表彰

さくらんぼ

園 長 荒井 隆夫

◎ 東京都社会福祉協議会会長表彰

さいわい福祉センター

事務員 長利 浩文

◎ 東京都社会福祉協議会会長感謝状

さくらんぼ

生活支援員 木村 泉

サンライズ武蔵野
生活支援員(母子) 佐藤 亮子

資格取得の紹介

左記の方々が資格を取得しました。
日頃の業務に活かしご活躍を期待します。

【精神保健福祉士】

昭島 荘

介護職員 安延 正憲

【介護支援専門員】

ニューフジホーム

介護職員 細野 智子

さいわい福祉センター

生活支援員 本村 隆浩

【社会福祉士】

双葉 園

保育士 倉持 謙由

【介護福祉士】

フジホーム

介護職員 久高 勇太

介護職員 藤原 高廣

フジデイホーム

介護職員 寺尾 英子

介護職員 波立 美香

フジデイサービスセンター

介護職員 田邊久美子

ニューフジホーム

介護職員 浦田 一志

介護職員 田村 真弓

グループホーム「かえで」

介護職員 天羽ますみ

ひかり苑

介護職員 加藤田寛道

万世敬老園

支援員 金本 則子

支援員 桜井 英子

小茂根福祉園

生活支援員 三瓶 弘毅

生活支援員 田島 祐介

さくらんぼ

生活支援員 三好 有理

生活支援員 内田 悠美

生活支援員 木村 泉

生活支援員 木村 泰輔

生活支援員 高橋 英子

生活支援員 野村 祐志

生活支援員 日高 広大

さいわい福祉センター

生活支援員 渡辺 康祐

総務部

事務員 加藤かおる

ご支援ありがとうございました(敬称略順不同)

ご寄付

◇社会福祉法人村山苑 職員有志一同 代表 杉山陽子◇マツダドライサービス◇東京都同胞援護会 後援会

後援会

◇伊藤彰浩◇海野昌伸◇小田昭子◇大西陽◇木村和子◇桐生國次郎◇高仲智子◇佐久間美智子◇佐藤哲子◇鮫島恭江◇高橋暢子◇中村浩二◇中村定徳◇中山孝子◇名久井佳治◇早川宗近◇原町3丁目町会長 土屋勝◇広田規子◇福家謙介◇福本光宏◇ヘアパルおかもと◇南雲栄一◇持田千恵子◇森川喜久男◇森生ヒデ子◇昭島サンセルフ 高野裕志◇おしゃれの店ひらまつ◇居宅介護サービスえがお◇田中青果店 田中潔◇橋本工務店 橋本誠一◇マツダドライサービス◇横田屋米店◇(社福)村山苑 理事長 品川卓正◇(有)とう教材社◇(有)イナダオフィス

サプライ◇(有)肉の山高◇(有)んや杉田商店 代表取締役 杉田武◇(有)リハビリサービス◇唐澤電気(株)◇クリエーティブカミヤ(株)◇(株)コイヌマ◇日本エンゼル(株)西東京F・S・O◇ひかりのくに(株)東京営業所◇福井自動車(株)◇ヘルシーフード(株)◇吉村電気工事(株)◇(株)相田土井設計◇(株)金井商店◇(株)キタジマ◇(株)木の里工房 木薫◇(株)昭和造園◇(株)新環境設計◇(株)共伸インテリア◇(株)八王子アイスフードセンター◇(株)安江設計研究所◇(株)ワイズマン◇(有)虹川設備工業

※「同援だより」名前掲載希望欄に
○印をご記入頂いた方のみ掲載しております。



バザー等ご協力
ありがとうございました

○東村山生活実習所まつり

五月十七日(日)

○同援みどり保育園バザー

五月三十日(土)

○みなと保育園バザー

六月十三日(土)

○同援さくら保育園バザー

六月十三日(土)

○むさしの保育園

サンライズむさしのと合同バザー

六月十三日(土)

○小茂根福祉園 こもねフェスタ

七月十一日(土)

○ゆたか苑 夕涼み会

七月十二日(日)



お知らせ

左記の予定でバザーや夏まつり等を開催致します。品物のご寄附ご協力等よろしくお願い致します。

○むさしの保育園はじっこ夕涼み会

七月十七日(金) 十五時三十分

○大山保育園 夕涼み会

七月十七日(金) 十七時

○同援みどり保育園 夕涼み会

七月十七日(金) 十八時

○同援さくら保育園夏祭り夕涼み会

七月十七日(金) 十八時

○つつじが丘保育園バザー

七月二十三日(木) 十五時三十分

○つつじが丘保育園夏祭り

七月二十三日(木) 十七時

○サンホーム納涼祭

七月二十四日(金) 十八時

○さやま園夏祭り

七月二十九日(水) 十七時

○昭和郷納涼祭

七月三十日(木) 十八時

○さいわい福祉センター夕涼み会

八月二日(土) 十七時

○児童センターぱれっと 感謝祭

十月一日(木) 十時

○ゆたか苑 地域交流バザール

十月十七日(土) 十時

○さやま園祭

(ひかり苑・サンホーム合同)

十月十八日(日) 十時

○サンライズ青山 バザー

十月十八日(日) 十二時

○昭和郷フェスティバル

十一月三日(火祝) 十時

○大山保育園 ぼかぼかバザール

十月七日(土) 十時三十分

○むさしの保育園方南分園バザー

十一月七日(土) 十二時三十分

○小茂根福祉園 こもねまつり

十一月十四日(土) 十二時

○さくらんぼ祭り

十一月十五日(日) 十二時三十分



雑感

乗り鉄、撮り鉄なんて言葉をよく聞きますが、私はどちらとも言えず、乗るのも、撮るのも心躍りません。

小さな頃、母と一緒に、電車が見える場所まで行って、金網の柵にはりつき、いつまでも貨物列車の車両を数えたり、コンテナの色や形を比べながら見ていました。

線路っぱたに咲いていた季節毎の花と共に鮮明に覚えています。

そして、母も、私が見飽きるまで付き合ってくれました。

その、貨物列車線路の延長線付近に今は転居。年輩いた両親のためのバリアフリー住宅が目的でしたが、母と私の五十年以上も前の二人の姿が再現されていることに、只ただ感謝であります。いつまでも、乗り鉄、撮り鉄、いや、見鉄はこれから先も続きます。

(森 記)

― 表紙の写真 ―

「天空のポピー」

秩父高原牧場にて

(南山京子 氏)

平成二十七年七月十五日 発行
東京都新宿区原町三の八
電話 〇三(三三四一) 七六一一
社会福祉法人 東京都同胞援護会
発行者 牧野洋一
印刷所 東京都同胞援護会事業局
東京都墨田区両国四一―八